

大阪府難病医療協力病院選定要綱

(目的)

第1条 本要綱は、「都道府県における地域の実情に応じた難病の医療提供体制の構築について」

(平成29年4月14日付け健難発0414第3号厚生労働省健康局難病対策課長通知)を踏まえ、身近な医療機関で医療の提供と支援を行う大阪府難病医療協力病院(以下「協力病院」という。)を選定し、難病医療提供体制の整備を通じて、大阪府の難病対策全体の質の向上を図ることを目的とする。

(定義)

第2条 この要綱において協力病院とは、第3条により、大阪府知事(以下「知事」という。)が選定した病院をいう。

(選定)

第3条 知事は、府内に所在する医療法(昭和23年法律第205号)第1条の5第1項に規定する病院のうち、以下の要件をすべて満たすものから、地域の実情を総合的に考慮し、協力病院を選定する。

(1) 選定を受けようとする病院の代表者(以下「代表者」という。)が、「大阪府難病医療協力病院申請書」(様式第1号)を提出していること。

(2) 別途定める「大阪府難病医療協力病院選定基準」で定める要件をすべて満たし、指定後はこの要綱の規定を遵守することに同意していること。

2 知事は、選定を行った場合、「大阪府難病医療協力病院指定書」(様式第2号)により、代表者に対し、その旨を通知する。なお、指定期間については、2023年度末までとする。

3 知事は、協力病院が選定要件を満たさないと判断されるとき、または代表者から申し出があったときは選定を取り消すことができる。

4 協力病院の選定においては、協力病院の実績等を定期的に評価し、必要に応じて協力病院の見直しを行うこととする。

5 協力病院は、報告書(様式第3号)により、年1回診療実績等を知事に報告するものとする。

(役割)

第4条

1 大阪府難病診療連携拠点病院等との連携

(1) 難病診療連携拠点病院等からの要請に応じて、難病の患者の受入れを行うこと。

(2) 協力病院で確定診断が困難な難病の患者を難病診療連携拠点病院等へ紹介すること。

(3) 難病診療連携拠点病院等が実施する研修へ参加すること。

2 地域及び保健所との連携

(1) 地域の病院・診療所及び保健所等関係機関からの難病患者に関する相談や必要に応じて患者の受け入れを行うこと。

(2) 地域において難病の患者を受け入れている福祉施設等からの要請に応じて、医学的な指導・助言を行うとともに、患者の受入れを行うこと。

(3) 保健所等関係機関が開催する難病に関する会議や研修等についての協力及び参加すること。

(府事業への協力)

第6条 府が行う難病対策の事業に積極的に協力すること。

附 則

この要綱は、令和元年10月29日から施行する。